

麻に つるる



Photo by Yamamoto「亜麻の里」

日本麻紡績協会

ASABO / Japan Linen, Ramie & Jute Spinners' Association

麻につつま

目次

・ 業界レポート	2015 年リネン事情	・ ・ ・	2
	2015 年ラミー事情	・ ・ ・	3
・ 会員企業紹介	辰野株式会社	・ ・ ・	4
	株式会社北国生活社	・ ・ ・	5
	エップヤーン株式会社	・ ・ ・	6
・ 新会員企業紹介	株式会社マルキン	・ ・ ・	7
・ 活動レポート	❖ プルミエールヴィジョン 2015 年 2 月展	・ ・ ・	8
	❖ 欧州ツアー & CELC レポート	・ ・ ・	11
	❖ 中国麻紡績行業協会レポート	・ ・ ・	12
・ 香港レポート		・ ・ ・	15
・ オピニオンリーダー		・ ・ ・	17
・ 2014 年定時総会を振り返って		・ ・ ・	19
・ 会員企業一覧		・ ・ ・	20
・ 会員企業ネットショップ URL 一覧		・ ・ ・	21

業界レポート

2015 年リネン事情

□ 欧州リネン

2014 年 亜麻原草（FLAX）主要生産地であるフランス・ベルギー・オランダ 3 カ国での作付面積は 81,000 ヘクタールであり、2015 年度は未確認情報ではあるが、中国・インド等の旺盛な買付状況により 15%～20% 程度の作付面積増加と言われている。需給関係のアンバランスから原料相場の高値安定が継続中であり、作付面積を増やしても価格相場が下がらないとの思惑から農家が作付面積増加に動いたようである。

<過去 4 カ年作付面積・生産量・価格推移>

主要 3 ケ国 (フランス・オランダ・ベルギー)	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年
作付面積 (ヘクタール)	67,800	74,400	81,200	81,000	95,000 (推定値)
原料生産数量 (トン) (Long Fibres - Scutched Line)	62,500	97,100	132,400	100,000	未定
原料価格 (€/Kg)	1.93	1.7	1.78	2.2	未定

最後に 世界全体でのリネン潤紡糸の生産量は（ロシア・エジプト・バングラ等含め）約 180,000 トンと言われている。



© Sébastien Randé pour CELC MASTERS OF LINEN

□ 中国リネン

- ① 紡績設備： 合計 80 万錠維持、稼働率は昨年の 55 万錠を上回る見込み。
新規設立も活発に推移：寧夏・江西・浙江等地区合計 10 万錠の予測。
糸輸出： 3 万トン程度（史上最高）、内インド向け約 1.5 万トン。
原料動向： 中国向け 2014 年末の欧州リネン原料の値段は 2013 年に比べ 35～40% 値上がりし、2015 年に入ってもその値段で高止まりしており、糸価格もそれに伴い、今年初頭から少し高値で推移している。
- ② 布帛工場： 織工賃は低迷が続き、廃業や新規設立が活発化している。
生地輸出： 2014 年 1.55 億メートルと 2013 年より微増。
輸出先首位はバングラデシュ、次はイタリア、欧州他国。
- ③ 情報： 中国産ラミー原料不足により、値上げに耐えられないメーカーがラミー紡績からリネン紡績に新規参入してきており、今後はリネン紡績の増加に伴い、リネン原料の争奪戦が避けられない状況にある。

業界レポート

2015 年ラミー事情

1. ラミーの作付け状況

ラミーの栽培面積の減少傾向は止まりそうにない。長年の市況低迷に加え、人件費、化学肥料、農薬等の価格アップにより、大多数の農民は、ラミーの栽培を放棄することを選択せざるを得ない状況で、栽培面積の極端な減少を引き起こしている。この栽培面積減少は 10 年前から兆候があり、現在に至っている。

従来の最大産地であった湖南省をはじめ、四川省、湖北省、江西省、安徽省の各産地で軒並み減少しており、回復の兆しはない。

需給のバランスが大きく崩れたことに依り急激な価格アップとなっており、原料メーカー、紡績各社をはじめ川下までの各段階に影響が出ている。

2. ラミーの栽培面積及び生産量について（多方面の情報による推定）

あまりにも作付け面積が減ったため、正確な情報が取得できなくなっており、各方面の情報を集め、推定での数字となっている。

主な産地としては、湖南省＝約 1 万畝（667ha）、四川省＝約 5 万畝（3,333ha）で、江西省、安徽省でもいくらかは栽培されているが、面積は不詳である。

各産地とも栽培面積は減少し続けており、大多数は山の斜面の角地で、殆どは人による管理はされていない。

現在使用しているラミー原草はほぼ往年収穫されたものと思われ、ある関係者の情報では、中国の原草在庫数量は約 3 万トンとの事（但し、真偽の程は定かではない。また、2014 年の予測数量は 3～4 万トンであった）

3. 原草価格について

従来取引の中心であったラミー専門の原料商がなくなったため、農家と加工業者が直取引を行う様になり、原草価格については不透明な部分が多くなった。しかし、農家の売り惜しみは続いている模様で、トップの価格は 1 年で 4 割程度上昇している。

また、産地による原料の品質差と価格差がある為、平準化した糸の品質を確保するための作業は困難を極めており、問題になることも多い。

4. 2015 年の見通しについて

現在のところ、ラミーの原草価格が上昇し栽培農家の収入がある程度改善しても、栽培面積が次から次へと回復することは無いと思われる。むしろ栽培面積は年々減少し続ける可能性が高い。

企業側からすると、ラミー原草価格の上昇による急激な原価アップに加え、供給の不安を抱えており、危機意識は非常に大きい。各社とも対策を模索しつつ市場の動向を注意深く見守っている。

会員企業紹介

辰野株式会社

代表取締役 辰野 克彦

お陰様をもちまして、昨年創業 80 周年を迎えることができました。繊維業界における環境は、日々変化を続けておりますが、創業当初からの開拓者精神を忘れず、常にお客様に喜んでもらえる商品を皆様にご提供できるよう、社員一同取り組んでおります。

<企業理念>

社員の幸福 私達は、企業活動を通じて自己を磨き真の幸福を追求します。

社会への貢献 私達は、企業活動を通じて社会に貢献します。

<会社概要>

創業	1934 年 10 月
設立	1948 年 5 月
資本金	1 億円
従業員数	126 名

<事業・サービス概要>

官公庁・独立行政法人および大手民間企業向けにユニフォームを中心に繊維製品全般の製造・販売を行っております。国内外に自家工場および協力工場を有しており、企画・デザインから製造・販売まで一貫して行っております。

<麻への関わり>

全国警察官向け夏服・合冬ワイシャツにおいて表地が麻混の商品を販売しております。麻は「通気性」「清涼感」「強度」等の機能的な面に優れているだけでなく、独特の光沢と高級感は警察官の威厳格式を高めるために大変効果的と考えます。

<取扱商品>

制服、作業着、シャツ類、紳士服、雨衣、防寒服、クリーンルームウェア、その他繊維製品全般



株式会社北国生活社

代表取締役 内藤 大輔

北海道亜麻ルネサンスプロジェクトとして、2001年から北海道で亜麻栽培を行ってきました。北海道の畑作の輪作体系の中に亜麻を組み込んでもらい、北海道の一次産業に新しい風を入れたい、との思いからスタートしました。10年以上経ちますが、自然・農業の厳しさや難しさを毎年感じています。

収穫した亜麻の種子から油を搾り食用に利用しています。近年話題になっているオメガ3系脂肪酸が亜麻の油（亜麻仁油）には豊富に含まれているのです。



<麻へのこだわり>

亜麻は、種子は食用になり、茎からは繊維が採れ、花は綺麗で観光資源になる、と捨てることなく利用できる徳用作物です。私たちは亜麻栽培で北海道の多くの人びとが幸せになる事を願って日々の活動をしています。

毎年7月第2日曜日に当別町で開催している亜麻まつりは今年で8回目を迎えます。年々協力してくださる仲間が増え、亜麻に関する資料の展示、亜麻の繊維採り体験、亜麻色の髪の乙女歌唱コンテスト、亜麻畑見学、亜麻を使った限定食品の販売など、やれることが多くなってきました。これからも地元の仲間を大切に、北海道で亜麻の文化が根付くことを目標に長く長く続けていきたいと思っています。



<企業理念>

だいすき ほっかいどう

<取扱商品>

亜麻仁油サプリメント、亜麻仁油ドレッシング、生食用亜麻仁油、食用焙煎亜麻の実など

<会社概要>

設立 2007年3月

資本金 2500万円

事業内容 北海道産亜麻製品の販売。北海道の研究者が開発した機能性原料やそれらを使用した健康食品、化粧品の販売、卸



エップヤーン有限会社

筒井 利彦

「ものづくり」という言葉をよく目にします。

当社はニット用の糸を作っていますが、それはムラ無く綺麗な色に染めることであったり、編んだセーターが曲がらない様に糸を撚ることであったりします。そして、そういったことの中に、手間のかかる作業があって、難しい判断があって、ワクワクするようなチャレンジがあります。

「ものづくり」という言葉の中にあるそれらひとつひとつのことを、ちゃんと分かりやすく伝えながら商品を提供していくことをいつも心がけております。

＜麻への関わり＞

ひとむかし前まではリネンといえば高級素材でした。けれどもここ数年、安価で良質なリネン糸が手に入るようになり、幅広く多くの人たちの生活にリネンが取り入れられるようになりました。

肌触りの良いリネン、光沢のあるリネン、カジュアルなリネン、使う人によってリネンのイメージは様々です。手にした人にとって理想通りのリネンが提供できるよう、企画や開発に取り組んで参ります。

＜企業理念＞

糸作りを楽しむ会社であること。

＜会社概要＞

設立 2000年8月

資本金 300万円

従業員数 6人

＜事業・サービス概要＞

各種ニット糸の企画・製造・販売

靴下等二次加工品の企画・製造・販売



＜取扱商品＞

サフィラン社やリニフィチオ社など、ヨーロッパの各メーカーの糸を中心にニットセーター用に加工・販売しております。

＜トピック＞

リネンだけでなく、綿やウールなど主に天然繊維と呼ばれる素材を組み合わせでニットセーター用に加工しております。自社に撚糸機や編み機等の設備を置いているので、小ロットサンプルを短納期で作成することが出来ます。

また、ニットセーター用の糸を使用して靴下を編むことで、セーターの着心地が楽しめる靴下も作っています。

新会員企業紹介

株式会社マルキン

代表取締役社長 浅野 盛之

ご承知の通り、アパレル業界においては素材の提案が非常に重要な商品企画の要素となっています。当社は OEM 並びに ODM を主たる業務としていますが、日本麻紡協会に入会させていただいたことを契機に上質な麻素材を使った商品をさらに積極的にお客様に提案して行きたいと思っています。

<会社概要>

創業	明治 43 年
会社設立	昭和 24 年
資本金	9000 万
従業員数	50 名
事業所	新潟見附本社・加茂営業所・東京営業所
関連会社	丸金商貿有限公司 南通北島針織服装有限公司（合弁工場）
URL	http://www.marukin-jp.com

<事業内容>

各種繊維製品の企画・デザイン・製造・販売並びに輸出入業
年 2 回 表参道ネスパス新潟館 自社企画展示会開催（2015 5 月 11 月予定）

<取扱商品>

ニット、カットソー、布帛製品

<FLAXの栽培>

2014 新潟県見附市の畑で 4 月下旬、フランスから入手した亜麻の種をまいて栽培しました。
7 月初旬に綺麗な薄紫色の亜麻の花が咲きました。
2015 5 月～栽培予定しています。



活動レポート

プルミエールヴィジョン 2015 年 2 月展

トスコ株式会社
常務取締役 木村 健二

プルミエールヴィジョン 2015 年 2 月展の概要

ー プルミエールヴィジョン全体として ー

- * 従来別の名称で行っていた服飾資材、ヤーン、皮革、OEM のカテゴリーも今シーズンから全て Premiere Vision という名前を前面に打ち出した 6 つのパビリオン構成となっている。

Premiere Vision FABRIC・LEATHER・ACCESSORIES・DESIGN・YARN・
MANUFACTURING

- * 出展社、来場者数（PV 発表内容）

- ・ 全体で 1793 社の出展企業となり昨年 2 月より 20 社増
- ・ 3 日間の来場者数は 5 万 8 千 443 名。昨年 2 月比 5 % 減
- ・ 来場者国別割合は 仏 27%、英国 13%、イタリア 12%、スペイン 6%、ドイツ 5%、米国・日本 3%

- * プルミエールヴィジョンの発表によると、来場者数の減少の要因としては、政治、経済的に不安定なロシアからの来場者数の減少、NY コレクションと同時期の為、アメリカからの来場者の減少、アパレル企業の出張費削減 etc. をあげている。

《テーマ》

2016 年 SS は色々な魅力のあるエネルギーの相互作用からの出発。

- * 静けさ×活気、抑制×贅沢、直感×考察 といった対比する間での想像力に富んだ組み合わせを作り出す。
- * パートナーシップや調和の間で飛躍や相互作用からアイデアを生み出す
- * “丸みと軽さ” “色とテクスチャー（質感）” “カジュアル / スポーツとラグジュアリー”
といった世界の間で影響し合うイメージを色、素材、アイテムの中で表現する。

《COLOURS キーワード》

- ・ Fresh（フレッシュ、新鮮）・Intense（情熱的な、強烈な）・Subtle（微妙な、捉えがたい）・Vibrant（きらめく）
- ・ マルチカラー×ホワイト
- ・ 鮮明な色、パステルカラーの組み合わせ
- ・ 深い輝きによって引き立つダークカラーもしくはダークカラーによって引き立つ深い輝き
- ・ 柔かい色と騒々しい色の組み合わせ、同系色の組み合わせなどモノクロ的な 2 色の調和

《FABRIC キーワード》

明確なテクスチャー、弾力性のある手触り、軽さと丸み、
多様な解釈のテキスタイル、透明感を連想させる素材

ー バイヤーがピックアップした PV 全体での素材傾向 ー

《 レディース向け素材 》

＊エレガンス、クチュール的な素材がどちらかというと手工芸的になっている。

- ・ ラフィアを使った民族的なもの ・ 大胆な表面感のシアサッカー
- ・ デリケートな引き抜き加工のメッシュ/レース素材、刺繍を施したデニム、オーバープリント etc.

《 メンズ向け素材 》

＊ 全てにおいて極小柄、マイクロ組織が人気。

- ・ 極小のエンド&エンド、マイクロドビー、ミニチュアサイズのチェックのシャツ素材
- ・ 極小サイズのハッカバック、千鳥格子のスーツ地 etc.

ー 欧州麻連盟 (C.E.L.C.) ・ 2016SS リネン用トレンドカラー情報 ー



(「リネン素材向けカラートレンド」情報を P.V. で発表)

□ プルミエールヴィジョン出展まで

当社は、日本が麻の一大消費国であるにも拘らず、海外の麻市場での認知度、情報発信力は弱いと感じておりました。そこで、日本で生産している麻のクオリティの高さをもう一度広く世界に知ってもらい、海外市場で認知され販売に結び付けていきたいとの強い思いから、今回プルミエールヴィジョンに初出展致しました。

当初は営業各担当者も尻込みをしていましたが、社長自ら PV 側にコンタクトを取り、社内横断の組織を作るという強い意志を示し、それに引っ張られるように企画部門を中心に鋭意準備を進め、一つ一つ課題をクリアし出展当日を迎えました。

□ 出展内容

トスコのスタンドは、Hall 6 の綿、麻素材のカジュアルシャツ生地メーカーが集まったエリアにあり、スタンドの並びには LIBECO、リトアニアのリネン生地メーカー SIULAS、KLASKINE TEKSTIL などがありました。

当社の展示品の内容ですが、細番手ラミーのバリエーション、リネンの特殊加工品、混紡、交捻、交織、交編等の織物・編物で約 180 点をハンガー展示。また、革製品用ワックスコーティング糸や製品をディスプレイし紹介しました。

初出展ではありましたが、リネンの草木染めストールが目を引いたのと、来場者の流れもあり、多くのお客様が足を止め、スタンドに入ってこられました。

今回出展した商品でピックアップが多かった素材は下記の通りです。

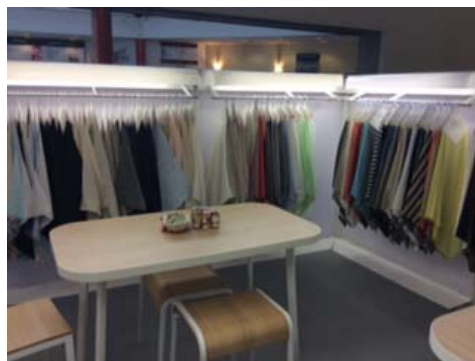
〈布帛でピックの多かった主な素材〉

- ・ Ramie 細番手使用生地素材。特にソフトパール加工
- ・ 細番手水撚りラミー糸使いの綿 / リネンの交織
- ・ リネン二重織、リネンデニム、リネン混高密度 など

〈ジャージでピックの多かった素材〉

- ・ ラミー細番手裏鹿子
- ・ リネン / コットン裏毛、
- ・ スペック糸使いボーダー天竺 など

また、展示フォーラムにもラミー細番手の織・編、リネンの強撚織物、リネンの編地等 10 点の素材がピックアップされました。



□ 出展の感想

展示会を無事に終了してほっとしたというのが正直なところですが、初出展ですから案の定準備段階、開催期間中、帰国後のそれぞれに問題点があり、反省する事も多くありました。反面自分たちの素材の多くが海外にも通じる事が実感できました。

出展した商品の内容は勿論の事、大きなことから細かい事まで、本当に多くの改善すべき点を見つける事が出来、今後の業務に役立つものと思っています。

また、会場内では CELC のブースを訪問し資料提供を受けたり、普段お目に掛れないメゾンの方々をはじめ、多くの国や立場の人と面談する事ができ、将来の色々な可能性を感じ取る事ができました。

今後は当然ながら一日も早く販売に結び付け、次の段階に進んで行きたいと思っています。

欧州ツアー & CELC レポート

<第2回 欧州国際リネン会議> 2014年11月5日～7日 ハンガリー (Budapest)

2012年の第1回開催以来2回目の同会議には世界15ヶ国から250名のリネン関係者が結集。日本からは、飯田会長を団長とするASABO会員18名が参加しました。

□ ASABO（麻紡）飯田会長がアワード受賞

主催者である欧州麻連盟（CELC）のバート・デボルク会長より飯田ASABO会長へAwardのMedalが授与されました。麻紡会員を50社から126社へ拡大し、日本市場に於けるリネンの普及、CELCへの貢献が顕彰されました。



□ 各国よりの報告及びパネル・ディスカッション

「Together for Growth, Global & Forward Looking Strategy, Industry & Consumer Targets」のテーマで、世界繊維市場の成長が鈍る中、リネン素材の普及に向け各国からの報告と協議が行われました。引続き「Worldwide Linen Markets & Opportunity」についてバネステ社 CEO Alex 氏の司会で各国主要団体によるパネル・ディスカッションが開催されました。

・中国（Kingdom 社：任 維明 主席）

欧州側に Flax 原料の価格及び品質の安定を要求。

・インド（Birla Gr.Textile：CEO Krishnamoorthy）

映像メディアにプロモーション費用を投入した結果、過去5年間で潤紡糸の消費量が4千トンから1万トン以上に拡大し、2020年には3万トンとの消費予測があり、深刻な原料不足が懸念され、欧州サイドの作付面積拡大が急務と主張。



・イタリア（ミラノウニカ会長・Alibini 社：CEO Silvio Albini）

欧州産リネン商材が世界各国に輸出拡大中と報告。

・ベルギー（Libeco 社：CEO Raymond Libeert）

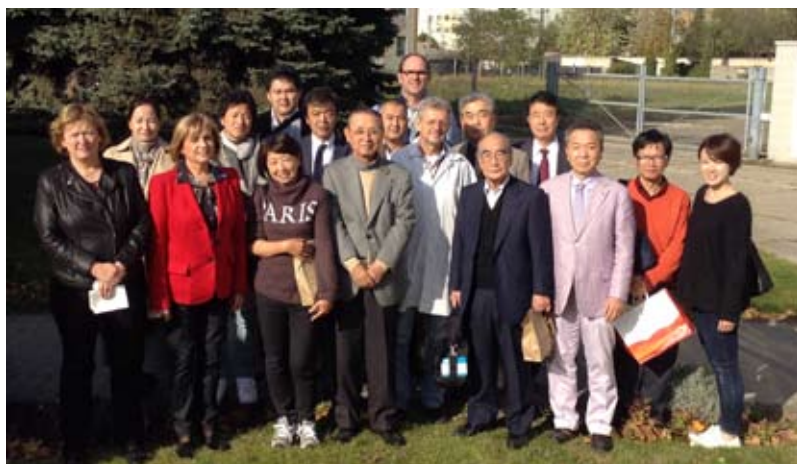
米国市場ではエコ意識が益々高まり、消費者のリネン志向が旺盛。

・日本（ASABO 会長代行 Manabu Kayama）

過去 10 年衣料市場は縮小傾向であるが、日本は古来から高級植物繊維を使用する伝統がある。加えて、夏場は高温多湿という固有の気候条件もリネンには最適であることが、世界第二位のリネン消費国の理由であり、今後とも成長市場であると主張。

□ ハンガロレン社（Hungaro-Len Ltd.）訪問

飯田会長以下 13 名が CELC デポルク会長同行にて ハンガリーの伝統あるリネン潤紡工場を表敬訪問。同社 社長 Mr. Nagy Sandor、輸出部長 Ms. Judit Markus 他 スタッフ皆さんが日本からの訪問団を温かく迎えて頂き、初めてリネン糸潤紡績の生産工程を目の当たりにしたメンバーも多く、大変有意義な見学会となった。



左から ハンガロレン社 Sandor 社長、
CELC(欧州麻連盟) デポルク会長、ASABO 飯田会長



ハンガロレン社 潤紡 トップ染め篠合せ (延線工程)

中国麻紡行業協会レポート

「麻国際会議・麻博覧会」(江西省 新余市) に出席

ASABO 会長代行 M.K

2014 年 12/11～13 日 中国麻国際会議・国際麻紡博覧会が、江西省新余市にて開催されました。許 吉祥会長より ASABO 飯田会長宛招待状を受け、代理出席。

会議には、麻博覧会出席者を含め約 800 名が参加。中国麻紡行業協会会長職に 許 吉祥氏が再選され、許会長より 2014 年度の基調報告が行われました。



今回の国際会議へは、日本麻紡績協会より 5 名参加、欧州はじめ、インド、エジプト、韓国 (50 名参加) と海外からも多数参加、開会式をはじめ、盛大な会議となりました。許会長の基調報告の後、各国代表でのパネル討論会も開催され、ASABO からは下記のポイントで日本市場の現況を報告しました。

- ① 日本市場の本年度潤紡糸輸入数量は昨年並みの 1500 トンの見込み。10 月迄の輸入数量 1150 トンを計上。
- ② 4 月の消費税 Up や、円安為替での輸入コスト Up 等、原料高・製品安により、市場が一時的に停滞しても今後とも麻素材の持続的成長は必ず継続する。
- ③ 高温多湿の気候条件下、高級植物繊維を大切にする歴史的風土や伝統的文化があり、今後一層の中国サイドの協力が不可欠である。
- ④ 欧州麻連盟からの報告にあるように、日本は世界第二位のリネンの消費国である。



許 吉祥会長 基調報告

文責：トスコ昆山紡織有限公司
総経理 松浦 弘

世界中よりお集まり頂いた皆様に敬意を表します。

ここ数年協会として取り組んできた事は、・国内市場の開拓・ブランド化促進・輸出促進・技術設備の向上・麻原料供給構造の問題点の解決 (亜麻は 90%、黄麻は 70%を輸入に頼っ

ている。ここ数年でラミーの栽培面積は激減している）・輸入関税引下げ及び補助金を積極的に当局へ働きかけ（2013年1月から亜麻短繊維他の輸入関税は4%から1%に引下げとなり、輸入企業のコストダウンに寄与した。黄麻（ジュート）については輸出補助金政策が認められた）・欧州との友好協力のため各方面での交流等を推進しております。

一方、麻業界の主な課題としては、・賃金上昇等による生産コストアップ・生産設備の自動化の遅れ・高付加価値商品への移行の遅れ・国内栽培原料の減少（亜麻と黄麻は殆ど輸入に頼っておりリーダーシップを発揮できない状況にあり、中国麻と称されるラミーに関しては、食用作物のような栽培補助金が無いため、栽培面積が大きく減少、品質も低下しており対策が必要）が挙げられております。

これらを踏まえて2015年ないし今後5年の協会の主要構想としては、・国内市場の拡大に注力・輸出品の高次加工化・生産設備の更新・原料栽培面積の拡大・商品技術レベルの改定・ブランド化・省エネ、環境保護技術の応用・諸外国との友好協力（米国、カナダ、インド、日本、ロシア、バングラデシュ、韓国、オーストラリア）・国家補助政策の請願（中国麻紡織労働集約型企业に対する増値税50%減免、各種申請に対する資金優先批准、食用作物並みの麻栽培農家への補助金、亜麻の輸入関税完全免除）等を進めていく方針であります。



国際会議 会議場

香港レポート

株式会社ケンランド
Concetto Plus Ltd.
大沼 裕子

2011 年あの 3 月 11 日成田に到着した私は、仙台の自宅、山形の会社のどことも連絡がとれず両親の安否もわからぬまま寝袋にくるまって大混乱の空港の中、長い夜を明かしました。

香港から帰国したのはケンランドが長年伝え続けてきた、より自然なコレクションをイタリアのショールームに紹介するためでした。私は東京で資料を受け取りすぐにイタリアへ向かいました。

古来からの日本の長い歴史の中で、人々の暮らしに深く関わりあってきた麻（大麻、苧麻）、その文化の伝承を尊ぶ、父の強い思い入れ。同様に長い時間をかけてチャレンジを続けてきた、これも又父にとっては大切な「亜麻—ヨーロッパリネン」という素材。そして、染色の日本の第一人者を師と仰ぎ、日本で、東北で、私達の故郷山形でナチュラルな染色にこだわって 30 数年作りためてきたものの数々。大学の 4 年間以外は高校の留学も含めて長い間海外で暮らしてきた、そして現在も香港に居住している私にとってそれをどう伝えていくのか。ここからケンランドと私の関わりが始まりました。

震災で全てがリセットしてしまった中で、リネンとヘンプのサンプルを持って再び父とミラノに向かいました。

大きな転機となったのは幸いにも、麻紡協会様の御案内でパリの CELC のツアーに同行させていただいた事。9 月初出展した WHITE 展（ミラノ）では CELC イタリアパートナーの Ornella Bignami 様にも声をかけていただきました。

それからは、パリ、ミラノとの距離が近づき、それまで知りえなかった一つ一つを少しずつ理解していくことが出来るようになりました。

ところがリネンの専業となった現場を持つケンランドにとって年間作り続ける「ケンランドリネン」をどうするのかという新たな課題が出現しました。

昨年ケンランドは大きな転換期を迎えました。

御存知のように、リネンは日本では「麻」と表示します。

「麻は夏の素材」—この概念をなんとかしたいと痛切に感じるようになりました。現代人の持つ問題意識に答えられる、本当に自然で優しく扱いやすく、そして長く大切に使うことができる素材、さわって触れていただいて直接にお伝えしなければと思うようになりました。そのこともあり最近店頭でのイベントを数多く行っています。

このところ日本で過ごす時間が多くなりました。

“春・夏・秋・冬 Love Linen ♪” 父の最強のモニターである母がよくハミングしています。気持ちいいねっと、笑顔をみせて下さるリピーターの方々。

私にとっても、湿気の多い香港暮らしを快適に過ごすための必須アイテムになっています。

東北で長年ベット廻りやバス廻りに至るまで、全ての日々の暮らしを愛犬と共にリネンで暮らす両親をみているとリネンへの深い愛情が伝わってきます。

そして今では私もリネンを大切に思うファンなのです。

昨年訪れた北フランスダンケルクの広大なフラックス畑の中で 7 年に 1 日しか咲かない

というフラックスの開花に喜んでかがみこんだ私に、CELC 技術・イベントプロジェクトマネージャー、Julie Pariset 様が“Admiring the flax field with emotion”とコメントを下さいました。(弊社 Facebook をご覧下さい。)

この愛らしい花が与えてくれる、人類への本当の優しさを正しく伝えていきたい、私も又そう考えています。



オピニオンリーダー

金達控股有限公司 (KINGDOM HOLDINGS LIMITED)

董事局主席 任維明 (Ren Welming)

現在、世界のリネンビジネスに最も影響を及ぼす一人に数えられる中国キングダム社主席の任維明氏から、日本麻紡績協会の皆さんへのメッセージが届きましたのでご紹介させていただきます。

キングダム社は、中国浙江省海塩県で創業、現在、従業員約 2,500 名でリネン潤紡糸の生産及び販売を行っています。

会社は、2006 年 12 月 12 日に香港株式市場に上場を果たすなど、創業以来 30 年、繊維事業を磨き上げ、この 10 年は、特に急速な発展を遂げると共に、以下の特徴ある強みを持つようになりました。



- 1) 規模 世界最大のリネン紡績メーカーとなり、生産量は、中国全亜麻市場の 15%程度を占める。
- 2) 技術力 生産設備の更新や技術革新を恒常的に行い、最新の紡績設備を導入、中国国内同業者を一步リードし、現在までに発明登録 7 件、意匠登録 41 件を保持。
- 3) ブランド 知的財産を重視、積極的に自社ブランド “KINGDAM®” “紫微®” 等の商標を育てています。リネン糸輸出数量は、12 年連続中国 NO.1 の座にあり、中国のリネン糸輸出量の 30%を占めています。
- 4) 管理力 キングダム社は、長年に渡り、工場管理の精密化を行い、優れた管理方式を導入、生産管理マニュアルや生産管理実行システム、工場内の情報一元化及び省エネ管理などを導入しています。



キングダム社は、設立以来、自然界に最も近い亜麻繊維に取り組み、その価値を創造すると共に、企業の社会貢献に心血を注ぎ、環境や社会責任面で業界のリード役を果たしたいと思っています。

環境保護については、各生産工程で使用する化学染料や助剤は全て有機系列のものを使用しています。また、ドイツ・シーメンス社と各工程、各建設項目など多方面でコラボレーションを実施、その結果、自動化が進み、省エネ管理による排出削減を実現。今年設立の新規工場では、1万錠毎に同業他社より人件費が25%減、水の使用量は50%減、電力使用量も11%の減少を実現することが出来ました。また、オーガニックリネンの栽培拡大を実施、新疆昭蘇地区はオーガニックリネンの生産基地として世界中から注目されています。

工場内では、＜ゼロ死亡＞実現はもとより、＜ゼロ災害＞＜ゼロ傷害＞を常に追求、従業員に安全、安心、健康の場を提供しています。また、社会貢献活動には積極的に参加、2009年以来、8,000本以上の木を植え、植樹活動を推進、環境保護に力を入れています。

キングダム社は、常に最高品質の物作りを追求し続け、一流企業の企業精神を目指し、高品質な商品とサービスを皆様に提供、これからも世界をリードする亜麻紡績メーカーとして頑張っていく所存です。



2014 年定時総会を振り返って

CELC（欧州麻連盟）のマリー・エマニュエル＝ベルザング事務局長が来日。両者の連携を強め、日本の消費者に確かな良い物を提供し、リネンビジネスを拡大する方向で一致した。

ベルザング事務局長は、拡大傾向にあるリネンビジネスのいっそうの成長に向け、「CELC建設的グローバル戦略」を発表。①リネン（亜麻）100%の証である「クラブ・マスターズ・オブ・リネン」、「ヨーロピアン・フラックス」の普及②教育イベント「リネン・ドリーム・ラボ」の日本開催とPR広告代理店の東京での開設③欧州委員会との共同出資プロモーション「BE LINEN2」の推進——などを紹介した。

ヨーロピアン・フラックスは、（リネンの原料となる植物）とリネンの権威確立・擁護の観点から、偽造品はもちろん、ヘンプ混やラミー混との違いを明確にするもの。7月から試験業務をヴェリタス（品質・安全性・環境調査会社）に委託する計画で、世界的な普及を図る。ヴェリタス・ジャパンもあるため、日本麻紡績協会にも協力を呼び掛けた。

ベルザング事務局長は「団結は力。“1 + 1 = 3”という具合に相乗効果が出せるよう、日本麻紡績協会とのパートナーシップを強めたい」と語った。飯田会長は「新たなコラボレーションの提案を前向きに検討しながら、共にマーケットを拡大していきたい」と応じた。

「繊維ニュース」2014年5月21日付より



日本麻紡績協会 会員企業一覧 125 社、1 協同組合（五十音順）

7 青葉株式会社	有限会社小啓修整織物	トスコ株式会社
株式会社 AKAI	株式会社コトノカ	殿岡服飾工業株式会社
株式会社アクシス	サ サイボー株式会社	有限会社トモ企画
浅記株式会社	澤染工有限会社	豊川テキスタイル株式会社
朝日加工株式会社	株式会社三幸	豊田株式会社
旭紡績株式会社	株式会社三幸ソーイング	ナ 中伝毛織株式会社
アテンション・ジャパン・プロダクツ有限会社	株式会社三和リネン	中村株式会社
アトモスフェール・ジャパン株式会社	有限会社シービープランニング	有限会社ナカモリ
アンドー株式会社	滋賀麻工業株式会社	西陣染色株式会社
一陽染工株式会社	信友株式会社	西本株式会社
今村株式会社	シバテクノテクス株式会社	西山繊維株式会社
株式会社イワセ	島村メリヤス株式会社	日新実業株式会社
岩田工房	株式会社ジャスカ	ニット技研
エイチプラスパートナーズ株式会社	聖天株式会社	ハ ハイランドテクノ株式会社
栄光染色株式会社	新成物産株式会社	服部テキスタイル株式会社
越前屋多崎株式会社	新陽株式会社	平岡織染株式会社
エップヤーン有限会社	鈴木晒整理株式会社	株式会社廣瀬商会
株式会社エヌ・ビー・アール	有限会社鈴由商店	廣瀬又一株式会社
近江織物株式会社	株式会社スチル	藤居織物工場
株式会社大志茂	装研株式会社	ブルーミング中西株式会社
株式会社おおまえ	タ 株式会社ダイイチ	株式会社穂高商事
大森撚糸株式会社	大恒株式会社	マ 株式会社麻絲商会
オガワテクノ株式会社	株式会社大栄メリヤス	株式会社マルキン
小千谷織物同業協同組合	株式会社大長	丸佐株式会社
カ カネマサ莫大小株式会社	大和染工株式会社（今治）	丸進工業株式会社
兼松繊維株式会社	高島株式会社	丸紅株式会社
有限会社金丸整理工業	株式会社タグチ	株式会社丸萬
甲株式会社	株式会社武田商店	三重ユニフォーム株式会社
有限会社川登	株式会社タケミクロス	株式会社三崎
株式会社カンセン	タッカ株式会社	ミマス株式会社
菊高産業株式会社	辰野株式会社	株式会社武蔵富装
岐セン株式会社	田村駒株式会社	株式会社むつ縫製
株式会社北国生活社	蝶理株式会社	株式会社森下メリヤス工場
株式会社キョウワソーイング	帝国繊維株式会社	森菊株式会社
株式会社金原	有限会社テキスタイルベガ	ヤ 山甚物産株式会社
グローリア株式会社	株式会社テザック	株式会社ユニウェル
桑村繊維株式会社	東興産業株式会社	株式会社ユニックス
KB ツヅキ株式会社	稲京株式会社	ユニリネン株式会社
株式会社ケンランド	東洋繊維株式会社	ウ 株式会社リード商会
江東製織株式会社	東洋物産株式会社	有限会社リネット
小泉製麻株式会社	東和株式会社	リネンハウス株式会社
興和株式会社	株式会社トーホーユニ	ワ 株式会社脇本商事

会員企業ネットショップ URL 一覧（五十音順）

アテンション・ジャパン・プロダクツ有限会社	http://ajp.shop-pro.jp/
エイチプラスパートナーズ株式会社	http://www.theshophouse.net
株式会社エヌ・ビー・アール	http://cadeauya.nbr.jp/
株式会社おおまえ	http://www.oomae.co.jp/main/goods/bagmenu01.htm
KB ツツキ株式会社	http://www.aSabo.com/online_shop.html
小泉製麻株式会社	http://www.rakuten.co.jp/kirakufame/
株式会社北国生活社	http://www.amanosato.jp/
株式会社コトノカ	http://www.kotonoca.com/
有限会社シービープランニング	http://studioecru.shop-pro.jp/
株式会社タケミクロス	http://www.takemicloth.co.jp/
辰野株式会社	http://tatsuno-uniform.net/
帝国繊維株式会社	http://www.linenshop.jp/
株式会社ダイイチ	http://e-uniform.jp/index.php
有限会社ナカモリ	http://www.rakuten.co.jp/nakamori
ブルーミング中西株式会社	http://www.handkerchief-gallery.com/
ブルーミング中西株式会社	http://www.room-recipes.com/
株式会社麻絲商会	http://www.mashi.co.jp/
森菊株式会社	http://www.rakuten.co.jp/kijistore/index.html
株式会社ユニックス	http://www.rakuten.ne.jp/gold/merry-more/
有限会社リネット	http://www.lin-net.com/shop_linnen.html
リネンハウス株式会社	http://www.linenhouse.jp/
株式会社脇本商事	http://www.label-kun.com/

日本麻紡績協会

〒 103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-1-10

TEL 03-3668-4641

FAX 03-3668-4642

Email jp-asabo@cb.wakwak.com

URL <http://www.asabo.com> /

平成 27 年 5 月 14 日発行

本誌表題について

「麻につるる」は、ことわざ「麻につるる蓮(よもぎ)」に由来しています。ことわざの意味は、「曲がって生えやすい蓬でも、真っ直ぐに生える麻の中で育てば、曲がることなく自ずと伸びる」ということです。転じて、善良な人々に交われば、殊更に教育をしなくとも自然に善良な人に育つ、という意味に用いられます。日本麻紡績協会におきましても、麻に携わることを生業(なりわい)としている我々は、このビジネスに打ち込んでいる、それだけで真っ直ぐなどビジネス人生を描いて、成長していくことができる、そういう想いと願いを込めて、当協会誌のタイトルといたしました。



Photo by Takeda「亜麻の里」

日本麻紡績協会

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-1-10

TEL: 03-3668-4641

FAX: 03-3668-4642

Email: jp-asabo@cb.wakwak.com

URL: <http://www.asabo.com/>



Photo by Miyamachi「亜麻の里」